

2019年3月26日

報道関係各位殿

大阪府藤井寺市野中1-100-1
社会福祉法人恩徳福祉会
住宅型有料老人ホーム VIVI 藤井寺
(業務執行理事 山本則也)

ご 報 告

謹啓 平素は当法人当施設の日常業務に多大のご配慮を賜り誠に有り難うございます。

この度は、当施設に入所しておられる方がご逝去される事態を招き、ご家族様には心よりお悔やみを申し上げますと共に、ご入居者様及びそのご家族様を始め関係各所の皆様方にはご迷惑とご心配をお掛け致し衷心よりお詫び申し上げます。

当施設では日頃より常時次亜塩素酸噴霧器による感染予防をはじめ、職員の手洗い・消毒励行、施設内の清掃においても次亜塩素酸溶液を用いて消毒などの対応を取り、主治医による定期的な診察を行い、また、感染症発症例が認識された場合には、日常予防対策の上に更に、感染の疑いのある入所者様を直ちに隔離して主治医の診断を仰ぎ、職員にはディスポーザブルのガウン着用の徹底、施設への入場時の次亜塩素酸マットでの靴などの消毒といった措置を講じ感染の拡大を最大限に防ぐようにしておりました。

しかしながら、今般はこれらの対策にも拘わらず、本年3月14日に最初の感染の疑いのある入所者様を認識するに至り、直ちに隔離措置を講ずるなどしておりましたが、同19日に発症した入所者様(女性・91歳)および同22日に発症した入所者様(男性・83歳)のお二人の方が同22日にお亡くなりになる事態となりましたことは誠に慚愧に堪えないところでございます。

ご両名の入所者の方に関しましては、同22日夜に当施設に臨場された担当警察署刑事及び検視官から事件性がないとのご報告を頂戴いたし、ご家族様にもその旨が伝達されているとのことでございます。

また、同23日には所轄保健所による立入調査が実施され、当施設の各所を確認していただき、更なる感染症対策の徹底をするように申し渡され、即座に対応させて頂いております。

もっとも、当施設側の対応と致しまして法令の制度趣旨の理解が不十分で保健所への報告が遅れてしまいました。今後は緊急時の対策を含めより一層の法令遵守の徹底を図って参る所存でございます。

関係各位におかれましては、当施設へのご理解と更なるご指導のほどをお願い申しあげご報告とさせていただきます。

謹白